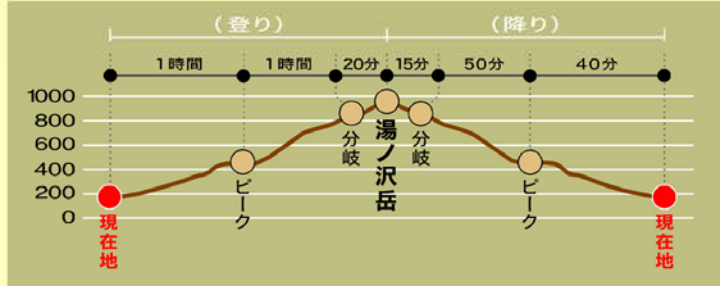




湯ノ沢岳登山道案内図



湯ノ沢岳

湯ノ沢権現は湯之沢岳の山頂の近くに奉られ、明治の頃までは湯ノ沢講があった。毎年五月八日より九月八日まで秘法をおさめ参拝した。

江戸時代の「大衆叢誌」に「この奥に湯殿山権現御鎮座の旧跡あり。近き所なればとて是より今の霊場へとぼせたまいしとかや、諸人信仰す。踏でるに三十七日の潔斎にてかのしやうせつに至る。」とある。

弘法大師が湯殿山を開く前に湯ノ沢岳を開いたという伝説の事であろう。湯ノ沢岳の登り口は熊出滝の沢にもあった。

「金峰万年草」(享保のころの本)に「金峰山の逆峰修行に葉分山(母狩山)湯澤荒、御綾山、尾浦橋、麻耶山、大鳥まで三年毎に修行したとある。湯澤荒の項に「中頃あら熊の住みて往来も無かりけるに西行法師登して「熊の住む苔の岩山おそろ志みむへなりけり奈人もかよわず」と書いてある。

拝所は小俣セエト沢より

- ①子陰山養蚕童子
- ②十三仏
- ③子安地藏菩薩
- ④如意輪観音菩薩
- ⑤八大龙王
- ⑥船玉龍王
- ⑦清メ滝大淨不動明王
- ⑧清メ滝三十六童子
- ⑨奥清メ滝大淨不動明王
- ⑩大黒天
- ⑪流れに釈迦文殊普賢菩薩
- ⑫弁財天
- ⑬いづなの権現
- ⑭お八万八千仏
- ⑮御七五三八大金剛童子
- ⑯三宝荒神
- ⑰虚空蔵菩薩
- ⑱熊野権現
- ⑲青面金剛童子
- ⑳剣の権現
- ㉑月山権現
- ㉒湯殿権現
- ㉓薬師権現
- ㉔タラタラ滝不動明王

母狩山までの峰筋に風雪に耐えた幻想的なブナの柱がある。三俣山には弘法大師の大岩石がある。

お問合せは
あさひむら観光協会
又は 鶴岡市朝日庁舎商工観光課
☎0235-53-2111